

校区の概要

本校は、朝来市の北西端に位置し、国道9号線・円山川右岸道路・JR山陰本線が並行して走っており、山陰路の要衝地となっている。和田山駅以北の近隣地域では、市営住宅・アパート等が増加し、若年層の居住者が多く、核家族化現象が進み、鍵っ子が増えている。反面、県道に沿った地域では、三世代家族が多く、過疎化や高齢化が進み、児童数も減少傾向にある。

地場産業の中心はパネ工場で、現在9つの事業所でパネが生産され、国内はもとより海外にも輸出されている。パネの軍事工場が疎開して操業したのが始まりで、戦後スプリングの生産が定着し、今日の盛況に至る。

校訓である「強く、明るく、のびのびと」をもとに、147年の歴史と伝統をもつ本校は、古くから多くの偉大な人物を生み出している。昔から大蔵地区は「教育村」と言われ、地域の教育に対する理解と協力は並々ならぬものがあり、その伝統が今日まで受け継がれている。

沿革の概要

明治 6年 8月 高瀬村見明庵を借りて学校創立（児童数20余名）
明治10年 宮田村法泉寺に移転
明治12年 現在地（向野）に5間×7間2階建鼓楼付き校舎建築
明治14年 5月 従来の宮田小学校を三宣小学校と改称

平野、岡、朝日を支校に
大蔵尋常小学校と改称（修業年限4年）
高田浄安寺を学舎として大蔵高等小学校を創立
高田尋常高等小学校を併置、大蔵尋常高等小学校と改称
国民学校令施行により、大蔵国民学校と改称
新学制施行に伴い大蔵小学校となる大蔵中学校開校
町村合併により朝来郡和田山町立大蔵小学校と改称
プール完成
創立100周年記念事業実施（記念誌編集、希望像除幕）
校舎竣工式（記念誌発行、各種記念行事実施）
校訓制定「強く 明るく のびのびと」
体育館竣工 7月 プール改修更衣室移築
交通公園完成（二代目）
森はな先生句碑除幕式に6年生「じろはったん」披露
阪神・淡路大震災のため阪神間より5名の児童が仮入学
県小中学校書写コンクール学校賞を受賞
総合的な学習の時間の実施、完全学校週5日制の実施
県指定「基礎・基本の確実な習得を図る実践研究事業」
県指定「基礎・基本の確実な習得を図る実践研究発表会」
朝来郡4町合併により「朝来市立大蔵小学校」に改称
ハンドボール全国大会出場
県ハンドボール大会男子優勝 女子準優勝
県ハンドボール大会男子優勝 女子準優勝

平成19年 1月 ハンドボール西日本大会 出場
2月 金管バンド部 西日本大会出場 神戸文化ホールで演奏
6月 書写コンクール学校賞受賞
6月 県ハンドボール準優勝 10月県ハンドボール準優勝
但馬ハートふるさとフェスティバルにて「歌物語じろはったん」発表
夢教室（なでしこジャパン選手来校）但馬初開催
日本ジュニア室内陸上大会（男子100×4）第3位
兵庫県小学校体育部会総会並びに研究大会開催
学校体育優良校として表彰される
平成23年 4月 東日本大震災(宮城県山元町)へ泰山木の葉書を送る
平成23年 9月 地震補強大規模改修工事完了
平成24年 3月 校樹「百年桜」移植
平成24年 4月 校樹「百年桜」記念式典
平成25年11月 ICTの効果的な活用研究発表会
平成26年 4月 ユニバーサル化授業推進校指定
平成27年 6月 県小学校音楽研究大会発表「歌物語 じろはったん」
平成27年 7月 市原悦子氏朗読会にて「歌物語 じろはったん」を披露
平成27年10月 第49代校長故齋賀氏から「森はな先生之像」の寄贈
大蔵地域自治協議会からの台座と周辺整備の寄贈
文部科学省指定研究「授業のユニバーサルデザイン化推進

モデル事業」県研究発表大会開催
平成29年 9月 屋内運動場大規模改修工事完了
平成29年12月 大蔵地区区長会からグランドピアノの寄贈
平成30年 1月 和田茂樹氏から油彩絵画「白い機関車」の寄贈

学校経営方針

- 校訓 「強く 明るく のびのびと」
- 教育目標 「夢や志をもって、自立して未来を担う大蔵っ子の育成」
大蔵っ子が、校訓「強く 明るく のびのびと」の実現をめざし、夢や志を持ってたくましく生き、未来への道を切り拓くことのできる児童を育成する。

めざす子ども像（元氣・本氣・根氣・活氣・勇氣）
強 く : 夢や志の実現に向け、創造性やチャレンジ精神を持って、主体的に学び、仲間とのやりとりを通して学びを深め、自己の思いや考えを進んで表現することのできる子

明 る く : きまわりを守り、元気に活動しようとする子
支えあい、協力しあい、共に伸びようとする子

のびのびと : 思いやりや寛容な心を持ち、自他のいのちを大切にできる子
ふるさとを愛する心、感謝の心をもって成長できる子

めざす教師像

- 実践的指導力を有し、誇りを持って指導にあたる教師
- 一人一人の児童と向き合い、子どもたちの夢や目標の実現のために情熱を持ってかかわる教師
- ワーク・ライフ・バランスを保ち、家庭、地域、職業人として自己有用感をもって活躍する教師

めざす学校像

- 児童、保護者、地域、教師が誇りとする学校
- 児童と教師が心身とも健康で笑顔あふれる学校
- あいさつや歌声の響く学校
- 学校、家庭、地域が一体となり、子どもにかかわる、地域とともにある学校

3 指導の重点

- 学習指導
 - 「生きる力」の基盤となる確かな学力の向上を図る。
 - 主体的・対話的で深い学びをめざし、判断力や創造力、活用力、コミュニケーション能力を培う。
 - 授業のユニバーサルデザイン化により、どの子にとってもわかりやすい授業づくりや学びの場としての環境を整える。
- 生徒指導
 - いじめの積極的な認知と未然防止、早期発見、早期対応における組織的対応の充実を図る。
 - 不登校の予防や支援の充実を図る。
 - 豊かな人間性と規範意識の定着を図り、誰もが安心して学び、生活のできる集団づくりを図る。
- キャリア教育
 - 社会的自立に必要な態度や能力を育てる。
 - キャリアノートやキャリア教育指導資料等の積極的な活用を行う。
 - キャリア形成にかかる体験活動及び事前・事後指導の充実を図る。
 - 自己の将来像を描き、学ぶことや働くことの意義・役割等を理解させ、キャリアプランニング能力を育成する。
- 特別支援教育
 - 一人一人の教育的ニーズを把握して、きめ細かく適切な教育支援を充実させる。
 - 関係機関との連携による組織的支援を行う。
- 特別活動
 - 児童の自治能力を高め、自発的に最後まで活動し抜く力を育成する。
- 人権教育
 - 「じろはったん」の精神を意識して、生活の中で実践していける力の育成を図る。
 - いじめ、インターネットによる人権侵害等、今日的な人権課題に対する理解の促進を図る。
- 図書館教育
 - 読書の機会を増やし、家庭と連携した読書活動の充実を図る。
- 総合的な学習の時間
 - 「ふるさと意識の醸成」を図り、郷土を誇り次代を担う人材を育成する。
- 防災教育
 - 震災の教訓を生かし、「命を守る」防災・減災教育を推進する。
- 道徳教育
 - 多様な考えにふれ、自己の考えを深める「対話」による道徳の授業の推進を図る。
 - 家庭・地域への道徳の授業公開の推進を図る。
- 情報教育
 - 急激な情報化社会への対応力育成を家庭と連携して取り組む。
- 体育・スポーツ・文化活動
 - 体力・集中力を高め、心身ともに健康で、進んで運動を楽しむ力を育成する。
- 健康・安全・食育教育
 - 自分の体を知り、健康に過ごす態度を育成する。
- 国際理解教育
 - 将来国際社会の一員として様々な分野で活躍できる人材を育成する。
- 福祉教育
 - 変化の激しい社会の中、「みんなの幸せ」を意識させる福祉教育を推進する。
- 環境教育
 - 体験活動を通して、環境を大切にする意欲や態度を育成する。
- 教職員の資質と実践的指導力の向上
 - 教師としての強い信念と倫理観をそなえ、愛情、情熱を持って子どもと向き合い、共に学び続ける職員組織を構築する。

教職員の状況

No.	氏名	担当等	主な校務分掌
1	小倉畑 祐 貴	校 長	学 校 経 営
2	山 畠 操	教 頭	総 務
3	石 坪 典 子	1	キャリア・園小連携
4	奥 村 彩 夏	2	美化・奉仕的行事
5	西 山 愛 沙	3	環境・体験教育
6	清 水 し の ぶ	4	図書館・福祉教育
7	西 山 未 来 人	5	体育的行事・生活指導
8	福 富 学	6	外国語教育・児童会
9	小 山 由 起 子	ボ プ ラ 学 級	道徳・特別支援教育
10	松 下 茂 雄	さ くら 学 級	研修・特別支援教育
11	小 山 秀 美	児 童 支 援	人 権 ・ 図 画 工 作
12	田 中 正 栄	専 科	文化的行事・金管指導
13	林 真 奈 美	保 健	保健指導・食育
14	田 村 江 梨 子	主 査	学 校 事 務 全 般
15	足 立 勝 彦	新 学 習	兵庫型教科担任制
16	坂 本 亜 友 美	学びのサポーター	1 ・ 2 年 生
17	稲 津 祥 子	学びのサポーター	特 別 支 援 学 級
18	濱 本 竜 太	学びのサポーター	3 ・ 4 年 生
19	リー ジョン	A L T	外国語教育支援
20	リン ヤニック	A L T	外国語教育支援
21	上 道 弘 美	校 務 員	校 務 全 般
22	佐 藤 史 子	校 務 員	校 務 全 般
23	大 槻 か お り	通 級 指 導 員	
24	吉 井 和 子	スクールカウンセラー	

児童の状況（R2.9.1現在）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	ボク球部	さくら部	合計
男	9(1)	11	10	14	15	9(1)	2	0	70
女	7	13	7	14	6(3)	9(1)	3	1	60
計	16(1)	24	17	28	21(3)	18(2)	5	1	130

